

期待される効果

IRは、関連する業種が多岐にわたる裾野が広い産業です。建設、施設運営、輸送、観光・レジャーなど、地域の多様な産業と結び付き、さまざまな面で大きな波及効果が期待されます。

雇用の創出と 県民所得向上

- IRの建設時から運営まで、良質で多様な雇用が生まれます
- IRの導入に伴う新たな需要で地場産業が振興し、高賃金の雇用体系が生まれ、県民所得の向上につながります

新たな人の 流れの創出

- 国内外からの観光客のさらなる増加が見込まれます
- アジア諸国に近い地理的特性を生かし、日本の玄関口として、全国への送客の起点となります
- 大村湾エリアをはじめ、離島地域に広がる周辺の観光資源開発により、IR来訪者の県内周遊を促し、県内全体の交流人口の拡大につながります

地域経済の 活性化

- IR施設内での消費は、農水産物や飲料品、物流サービス、ビルの保守などさまざまな分野にまたがり、地元からの継続的な調達が想定されることから、県内の企業にとって大きなビジネスチャンスとなります
- 民間事業者による投資が活発化し、本県のみならず九州全体の経済活性化が期待されます

人口減少の抑制

- 新たな人の流れと雇用の創出の好循環が生まれることにより、県内若年層の県外流出が抑制されると共に、国内外からの人材の流入の促進が期待されます



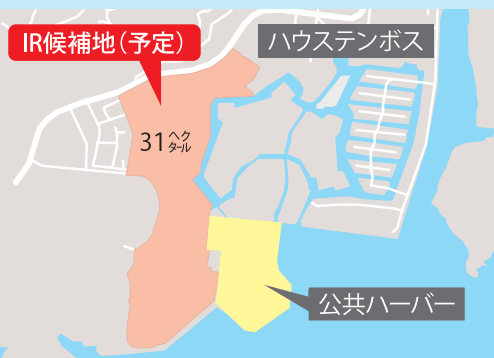
候補地

大村湾に面した佐世保市の「ハウステンボス」に隣接する31ヘクタールの敷地を確保しています。公共ハーバー（港）との一体的な開発が可能であることに加え、既存テーマパークの敷地の一部であり都市インフラが整備済みである点などが、IR事業者からも高く評価されています。

IR区域+ハウステンボスエリア



©ハウステンボス/J-19160



特集 IR誘致で広がる九州・長崎の未来!

県では、交流人口の拡大や地域経済の活性化、新たな雇用の創出、ひいては定住人口の増加につなげるため、IRの誘致を進めています。

IR (特定複合観光施設) とは

IRとは、国際会議場施設、展示等施設、我が国の伝統・文化などを活用した魅力増進施設（ショーケース）、観光客を各地域に送り出す送客施設（ゲートウェイ）、宿泊施設、エンターテインメント施設などにカジノを含んだ複合観光施設です。



©Aqua Expeditions

※IR整備区域は、国内3カ所を上限に国が認定します

※IRに占めるカジノの面積は全体の3%以下に制限され、他の97%は国内外のビジネス客やファミリー層向けの施設です

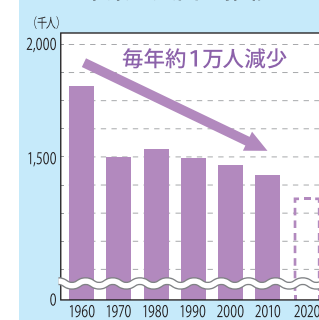
IR誘致を目指す理由

県では人口減少やそれに伴うさまざまな課題に直面しており、経済の活性化や雇用創出などを促進する必要があります。

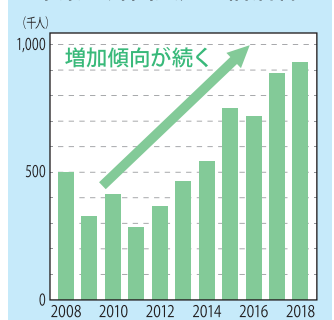
一方、観光戦略の推進により、外国人観光客が大きく増加するなど、観光産業は成長傾向にあります。

このような状況を踏まえ、国際競争力の高い滞在型観光施設の導入により、「新たな人の流れ」や「良質な雇用」などを生み出し、九州・長崎の新たな地方創生の実現を目指します。

本県の人口の推移

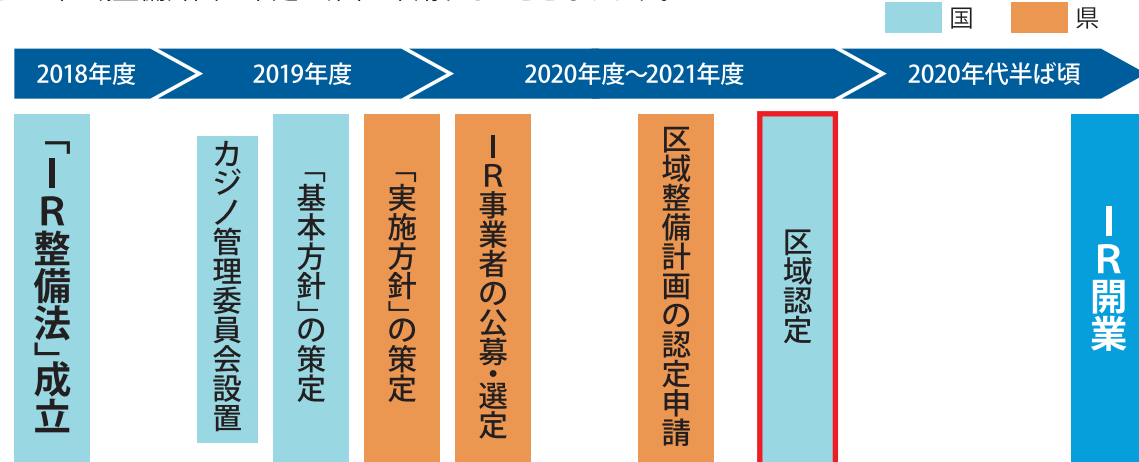


本県の外国人延べ宿泊者



IR開業までの流れ

IRの開業時期は、国が「2020年代半ば頃」と示しており、本県としても他の候補地域に遅れることなく、最短の開業スケジュールを見据えて準備を進めています。今後、IR整備の意義や目標を定める国の「基本方針」を受けて、県が策定する「実施方針」に基づき、IR事業者の公募・選定を行います。その後、IR事業者とともに区域整備計画を策定し、国に申請することとなります。



IRに関するQ&A

Q IRは誰がつくるの？

A 建設と運営は民間のIR事業者が一体的に行います。県は民間のIR事業者とともにIRを整備するための計画を策定し、区域認定申請を行います。

Q 観光客が増えることによる、交通渋滞への対策は？

A 地元住民の日常生活への影響が最小限となるよう、IR候補地周辺の交通対策を検討しています。また、より多くの人に、スムーズにIRに訪訪していただくため、道路の拡幅や交差点改良などのハード整備だけでなく、公共交通機関の充実やソフト対策などの検討を進めています。

Q IRだけに観光客が集中してしまうのでは？

A IRには、来訪者を他の観光地などに送り出す施設を備えるため、その機能を生かしながら、県内企業や商店などにも経済効果をもたらす仕組みの構築を進め、県全体の活性化を図ります。

Q IRについてもっと詳しく知りたい

A IRについての正確な情報や効果、懸念事項への対策などに関するセミナーを開催しています。また、希望される団体には職員を派遣する県政出前講座も行っていますので、お気軽にお問い合わせください。



本県が持つ海外との歴史的な交流の積み重ねとアジアに近接する地理的優位性を生かして、IRという国内外からの玄関口を設けることで、新たな人の流れを生み出し、本県のみならず九州全体の観光振興や経済活性化を図っていきます。

引き続き、県民の皆さんのご意見を伺いながら、九州各県や経済界など関係機関との連携を強化し、本県がIR区域として認定されるよう全力を注いでまいります。

長崎県知事
中村法道

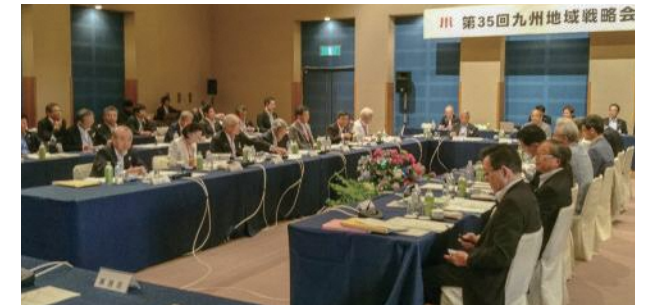


九州一体となってIRを推進

県では、全国に先駆けてIR誘致に取り組んでおり、「オール九州」としての体制づくりも進めています。

これまで、九州地方知事会議や九州地域戦略会議※、九州各県議会議長会議において、九州第一弾のIRとして応援する決議がなされました。引き続き、九州各県と連携し、官民一体となって「九州・長崎IR」の実現を目指していきます。

※九州・沖縄・山口各県の知事および経済界の代表者からなる会議



九州地域戦略会議（令和元年6月）

懸念される事項への対策

カジノ施設ができることによって懸念されるギャンブル依存や治安維持対策などについて、国が規定するもののほかにも、さらに九州・長崎IRとしての対策を進めていきます。

